



令和6年  
**2**  
月定期会議

## 一般質問に立つ

県道高島大津線のリバーシブルレーン運用停止の試行が行われています。シミュレーションに基づいて、尾花川交差点から北側の区間を北向き2車線、南向き1車線に、南側の区間を北向き1車線、南向き2車線に固定化しています。概ねシミュレーション通りとのことですが、時間によっては渋滞が悪化しており、迂回によって周辺道路が渋滞する、路線バスの到着時刻が遅延する等の影響があることが質問を通して明らかになりました。もともと渋滞する道路であり、改善を図る必要があります。

# 道路交通状況の変化への対応について



2月定期会議では「令和6年度滋賀県一般会計予算」（詳細は裏面）をはじめとする予算議案の他、危険な酒気帯び操船に対応する「滋賀県琵琶湖等水上安全条例の一部を改正する条例」や滋賀県東北部工業技術センター整備事業の大幅な工事費増額となる「契約の変更」などの議案審議を行い、いずれの議案も可決しました。

滋賀県議会議員

あきなり

# かわい昭成

大津市内では、集客施設や大規模マンションの建設が進められています。周辺の環境への影響を想定し、安全対策や渋滞対策などが必要です。

### 河井 リバーシブルレーン取り止め後の状況について

**県警本部長**▶ 運転者が走行車線を明確に認識できるようになり、逆走による事故等の防止につながっている。これまで人身事故の発生はない。

渋滞は、最も交通量が多い平日の午前7時から午前9時の時間帯で、南進の渋滞長が約26%長くなっているが、平日のその他の時間帯の渋滞は緩和されている。

### 河井 路線バスなどへの影響は？

**県警本部長**▶ 路線バス事業者によると、午前7時から9時台までに当該区間を通行する堅田駅発のバスが大津駅に到着する時刻が、今回の試行開始直前の平日5日間の平均約7分の遅延が、試行開始後2月第2週は平均約10分の遅延になったとのこと。

### 河井 渋滞の悪化への対応が必要だと考えるが、今後の試行の進め方は？

**県警本部長**▶ 現地の交通状況を確認しながら、信号周期の調整を行い渋滞の緩和を図っている。今後も渋滞の緩和を図りながら、試行実施を続ける。

### 河井 根本的には県道高島大津線浜大津周辺の道路改善（4車線化）が必要と考えるが対応は？

**土木交通部長**▶ 茶が崎から大津港口までの区間を「道路整備アクションプログラム 2023」の「着手時期検討路線」に位置付けた。今年度は、道路の概略設計を進めており、交通量を調査し、車道、歩道、自転車通行帯等の幅員構成や、道路の中心線の位置等について検討を始めた。沿道に建物が林立しており、今後、道路拡幅による市街地への影響など課題についても整理していく。

### 河井 たねやの新規店舗への来店者数や来店者のアクセス手段の想定は？

**商工観光労働部長**▶ 大津市由美浜にオープン予定のたねやの新規店舗の集客等に関するデータを県では持ち合わせていない。公表されているデータや県内の他の商業施設の状況から勘案すると、一定の集客が見込まれ、車での来場が主となると考えられる。

### 河井 新規店舗の開業による周辺道路への影響について

**県警本部長**▶ 近江大橋周辺道路は現在でも渋滞発生箇所である。新規店舗の予定地は、出入りする動線が少なく、周辺道路の車両や歩行者の交通量が増加すれば、渋滞等がさらに発生する可能性がある。

### 河井 公共交通の利用がしやすい環境整備を含め、交通渋滞の対策が必要では？

**土木交通部長**▶ 集客施設の設置に伴う周辺道路への影響や対策等は、「たねや」を「大津湖岸なぎさ公園」に誘致した大津市が、管轄する大津土木事務所や警察と協議をしている。県は、施設がオープンした後も、周辺道路の円滑な交通が確保されるよう、必要な対策を求めるとともに、適宜助言等を行う。

すべてのひとが輝くために  
可能性を実現できる滋賀へ



check

## 2/5・6 チームしが県議団 4つのテーマについて 県外視察を行いました

学校の教室以外の居場所づくり事業に取り組み名古屋市教育委員会と名古屋市立有松中学校の「ピースルーム」



ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による経済の活性化を目指す愛知県「休み方改革」プロジェクト

滋賀県での高専開学に向けて参考とするため豊田工業高等専門学校



切れ目のない子育て支援に取り組むみよし市版ニューボラ強化計画



facebook



Website

### 河井 石山駅北側のマンション開発が周辺道路に与える影響は？

**県警本部長**▶ 現段階では、入居者の年代や家族構成、車両の保有状況等が不明。定住人口等の増加により、周辺道路の車両や歩行者の交通量が増加し、渋滞等が発生する可能性がある。

### 河井 歩行者の安全対策が必要では？

**県警本部長**▶ 周辺地域も含めて車両や歩行者の交通量が増加することを想定し、道路管理者と連携を密にして、周辺道路の信号周期の調整や、通学路等の必要な箇所への横断歩道設置などの各種対策を検討する。

### 河井 石山駅周辺の県道について今後の交通状況の変化への対応は？

**土木交通部長**▶ 大規模マンションの建設による周辺の県道への車や歩行者の交通量の変化を注視する。影響がある場合には、交通管理者と協力し、道路管理者として必要な対応を行う。

他に、「点群データ」のオープンデータ化について質問しました。



※リバーシブルレーン・・・  
渋滞緩和のため、全幅3車線以上の道路において中央線の位置を時間帯によってずらし、交通量が多い方向の車線を特定の時間帯のみ増やす交通規制。

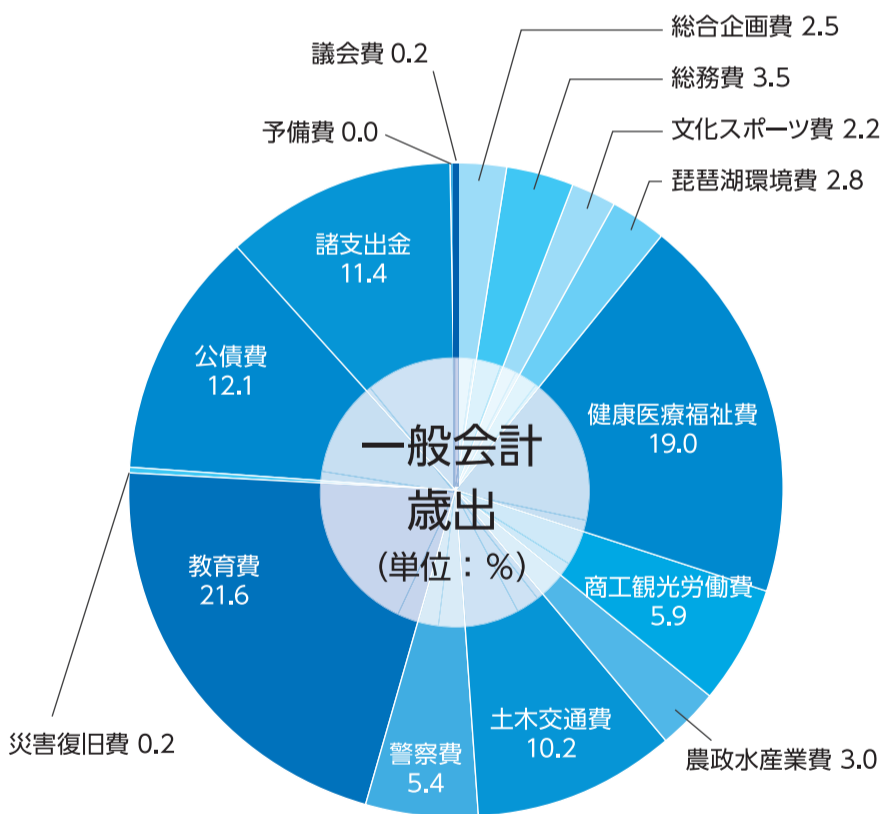
湖岸道路、国道1号  
(大規模マンション開発)



令和6年度当初予算の一般会計総額は、6,145億円。前年度と比べると約438億円(6.6%)の減額となったものの、4年連続で6,000億円を超え、新型コロナウイルス感染症対策を除いた予算規模としては過去最大規模の予算編成となりました。

新年度は、世界情勢の緊迫化や物価高騰、気候変動など、変化が激しく先行きが見通せない状況がある中でも、子ども・若者が夢や希望とともに歩む未来を展望し、「健康しが」を実現するという思いから ①子ども・子ども・子ども ②ひとづくり ③安全・安心の社会基盤と健康づくり ④持続可能な社会・経済づくり ⑤自然環境や生物多様性の保全・再生 の5つの施策の柱により重点的に取り組みを進めていきます。また、北の近江振興プロジェクトも2年目となり、県北部地域の振興についてさらに取り組みを拡充すること、大阪・関西万博、国スポ・障スポ開催への着実な取組の推進とレガシーの創出に向けても集中的に取り組んでいきます。

一方で、令和6年度当初予算案の段階での財源不足額は182億円となり、昨年度の当初予算の不足額と比較して8億円増加しています。要因としては、世界経済の減速による製造業の需要減の影響により法人二税を中心とした県税の減収等によるもので、引き続き厳しい財政状況となっています。



一般会計予算 6,145 億円

# 未来につなぐ みんなでつくる「健康しが2.0」

令和6年度 滋賀県一般会計予算

## 主な事業 ★は新規事業

### 1 子ども・子ども・子ども

129 事業  
289 億 2336 万円

★子ども・若者「健康しが」推進事業	400万円
★子ども・子育て施策推進交付金	4億円
★子どもの居場所づくり支援体制強化事業	1095万円
リトルベビー等家族支援事業	304万円
出産・子育て応援交付金事業	1億8740万円
子ども福祉医療費助成事業補助(19市町)	15億1487万円
★日野子ども家庭相談センター運営費	2137万円
★「こども としょかん」サポートセンター設置事業	634万円
多様な学び確保推進事業	680万円
★民間施設を利用する子どもや保護者への支援の在り方調査・検証事業	2120万円
★県立特別支援学校教育環境整備事業	152万円

### 2 ひとづくり

116 事業  
52 億 6268 万円

滋賀県立高専整備推進費	5億8559万円
福祉人材確保対策事業	7872万円
世界にひとつの宝物づくり事業費負担金	600万円
しがジョブパーク事業	8056万円
★若者ネットワークキャンプ事業	280万円

### 3 安全・安心の社会基盤と健康づくり

203 事業  
995 億 8628 万円

★地震対策推進事業	9191万円
犯罪被害者等支援事業	2620万円
伊吹山保全等対策事業	4250万円
人と動物の豊かな関わり推進事業	550万円
滋賀の公共交通未来アイデア会議	2100万円
★THE シガパークプロジェクト	2007万円
★令和6年能登半島地震対応業務(DMATの派遣等)	4033万円
★令和6年能登半島地震を受けた耐震化啓発事業	112万円
★トイレトレーラーの導入	7260万円

### 4 持続可能な社会・経済づくり

231 事業  
253 億 6650 万円

ホームページリニューアルに向けた準備検討	1260万円
「彦根城」世界遺産登録推進事業	1600万円
★琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業	59万円
デジタルミュージアム推進事業	2592万円
★持続可能な物流支援事業	7767万円
「きらみずき」みんなでブランド化推進プロジェクト	3276万円
みんなで育てる「みおしずく」ブランド化事業	1150万円

### 5 自然環境や生物多様性の保全・再生

71 事業  
89 億 8780 万円

「びわ湖の日」活動推進事業	874万円
マザーレイクゴールズ(MLGs)推進事業	1311万円
陽光差し込む健康な森林づくり事業	4億3204万円

<input type="checkbox"/> 県北部地域の振興	25 事業	2 億 4343 万円
<input type="checkbox"/> 大阪・関西万博への着実な取組の推進	6 事業	7 億 3368 万円
<input type="checkbox"/> わた SHIGA 輝く国スポ・障スポへの着実な取組の推進とレガシーの創出	17 事業	54 億 7259 万円

## 意見書

令和6年2月定例会議

「政治資金規正法違反疑惑の徹底解明と再発防止を求める意見書(案)」をチームしが 県議団より提出

可決

政治資金パーティーに係る収入が政治資金収支報告書に記載されていないという政治資金規正法違反が疑われる事案が連日報道され、政治に対する国民の不信が高まっているところです。

国民の政治への信頼を取り戻すためには、不記載となっていた資金の使途も含めて疑惑を究明し、国民への説明責任を果たし、再発防止のため、政治資金規正法の抜本的な改正等、真に効果のある対策を講じることが必要であるという考えから、今回の事案の全容を徹底的に解明するとともに、実効性のある再発防止策を講じることを国および政府に求める意見書です。

自由民主党滋賀県議会議員団の賛同は得られませんでした。賛成多数で可決しました。

その他「被災者生活再建支援の在り方に係る議論の促進を求める意見書(案)」、「価格転嫁対策の円滑な実施と実効性確保を求める意見書(案)」をチームしが 県議団より提出しました。